

## 学外から電子ジャーナルを読むための2つの方法 ～Shibboleth認証とVPN接続～

情報企画係 守本 瞬

金沢大学で研究・学習されているみなさんは、ネットワーク経由で提供されるデータベース（DB）での論文検索や、電子ジャーナル（EJ）での論文閲覧、その他のWebサービスをご使用のことと思います。

これらのサービスは、金沢大学で購読契約することで利用できているものですので、学内LANからアクセスしないと利用できません。しかし、自宅から、また外出先から利用したいということもよくあるでしょう。

今回は、**学外から有料Webサービスを利用するための2つの方法**をご紹介します。

### 方法1 Shibboleth認証を使う

1つめは、Shibboleth認証（シボレスにんしょう）という方法です。

これは、学外から各サービスのサイトに一旦アクセスした後、金沢大学の構成者であるという認証を行うことで、学内と同様のサービスを受けることができる方法です。

認証は、各サービスサイトに用意された金沢大学専用のログインボタンから行います。ボタンを押すと、金沢大学のShibboleth認証サーバーに接続し、その後ネットワークIDを入力します。本人確認が行われると、利用可能という情報が出版社のサーバーに送られ、学内と同様のサービスを受けることが出来るようになります。cookieを利用しますので、アクセスしている間は複数のサービスを再認証せずに利用することができます。

また、大学のサーバーへのアクセスによって認証することになりますので、PCへのインストール作業などが不要です。インターネットに接続さえ出来れば、どのようなPCでも問題なく利用できます。

金沢大学専用のログインボタンですが、各サービスサイトでの使用方法が異なります。サービスサイト別の「manual」を図書館のホームページにご用意していますので、ご確認ください。

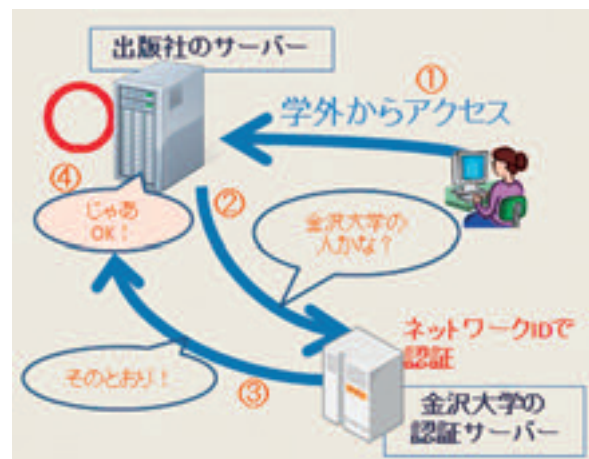
この方法の欠点は、まだすべてのサービスサイトがこの方式に対応しているわけではない、ということです。今後少しずつ対応サイトは増えていく予定です。

#### Shibboleth認証対応サービスサイト

利用サービス
Scopus
Web of Knowledge(Web of Science, JCRほか)
CiNii
Science Direct
Springer Link
OvidSP
Cambridge Journals Online
Pathology Images

(2010.12現在)

#### Shibboleth認証の概念図



## 方法2 VPN接続を使う

これは、学外から学内のVPNサーバーへ一度アクセスし、金沢大学のネットワークIDで認証した後、大学を経由して学外サービスを利用するという方法です。

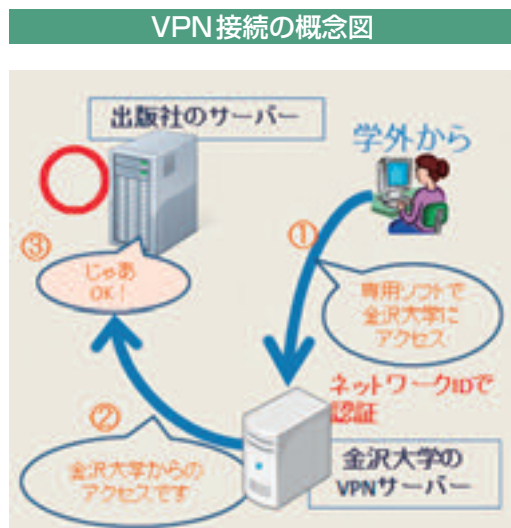
ご利用の際には、PCに専用のソフトをインストールする必要があります。おおまかな手順は以下のとおりです。

1. VPNGWのインストール
2. AnyConnectのインストール
3. 利用の際はAnyConnectを起動

ソフトをインストールして利用しますので、インストールされたPCでないと利用できませんが、ほぼすべてのサイトが利用可能です。Shibboleth認証が使えないサイトに対しては、こちらの利用をお願いいたします。

今回ご紹介した方法で、学外からもDB/EJを利用することができます。研究・学習に役立ていただければと思います。

認証、インストールなどの詳しい手順は、附属図書館ホームページの「学外からの利用」のページをご覧ください。<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/navi/outcampus.html>



## KURA 研究者インタビュー

平成18年6月に「金沢大学学術情報リポジトリKURA」を公開してから4年が経ちました。登録された文献のダウンロード数も、平成22年11月末現在で1,906,576回と、200万回も間近です。

そこで、この4年間の累積ダウンロード数トップ20にランクインした文献を書かれた先生にインタビューを行いました。それがどのような研究で、KURAで公開することで何か変化があったのか、Web公開と研究の関わりなどについて、お聞きしました。

- 第1回 小林信介先生～長野県からの満州移民～
- 第2回 田中康規先生～ポリマーでプラズマを減衰する～
- 第3回 多久和陽先生～動脈硬化を予防する～（番外編：北陸中日新聞に論文発表の記事掲載）
- 第4回 村本健一郎先生～人工衛星から森林を調査する～

インタビュー記事は、図書館ホームページから公開しています。ぜひご覧ください。

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/kura/interview/index.html>

今後もインタビューは続けていく予定です。